

## 「聴覚障害者福祉施策に関する公開質問状」への回答

依頼団体：聴覚障害者制度改革推進中央本部

〆切：2016年7月7日

回答日：2016年6月30日（FAX）

政党名：日本のことを大切に作る党

担当者：松原信也

### 1、「情報・コミュニケーション法（仮称）の制定について

障害者の社会参加の促進に必要な法律は制定すべきと考えます。

### 2、「手話言語法（仮称）」の制定について

手話が言語であることを明確にするためにも手話言語法は必要と考えます。

### 3、聴覚障害認定の基準について

高齢難聴者はこれから増えることが予想される。聴覚障害認定基準が実情に合わないことは問題であり、改定が必要と考えます。

### 4、「盲ろう」という固有の障害について

盲ろうは、障がいの重さはろう者とは同じではない。独自の障害種別の設定が必要と考える。

### 5、手話通訳制度における資格について

国家資格にすることは賛同する。

あわせて手話を社会に広げるためにも広範な取り組みが必要である。

### 6、手話通訳者の身分保障について

専門職として、安定した正規職員を拡大すべきと考える。

### 7、その他

災害時の支援体制づくりが必要と考える。

以上